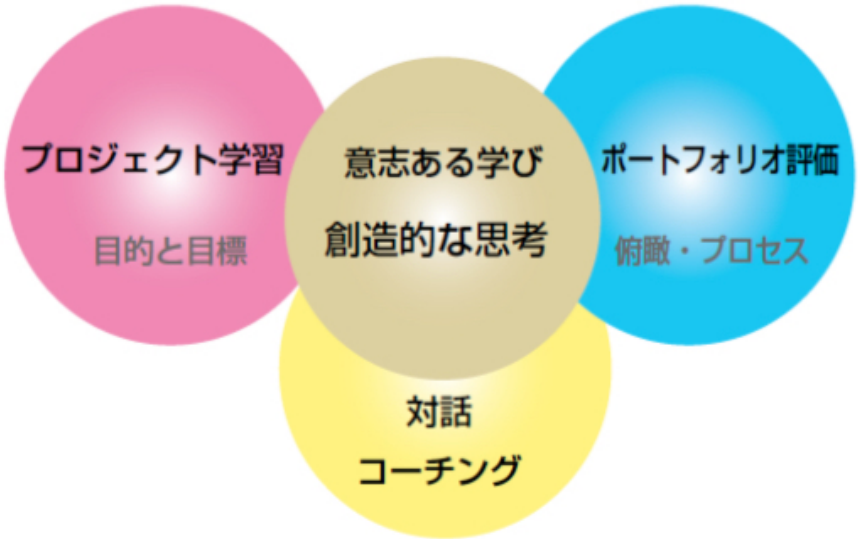
資料 A

AI 時代の教育‥Co-Creation（共創）

次世代プロジェクト学習・ポートフォリオ・対話コーチング

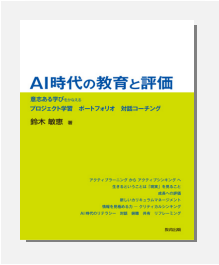
鈴木 敏恵（未来教育クリエイター・一級建築士）

未来教育プラットフォーム



出典：書籍『DX とポートフォリオで未来教育
対話でかなえる学びとキャリアのデザイン』

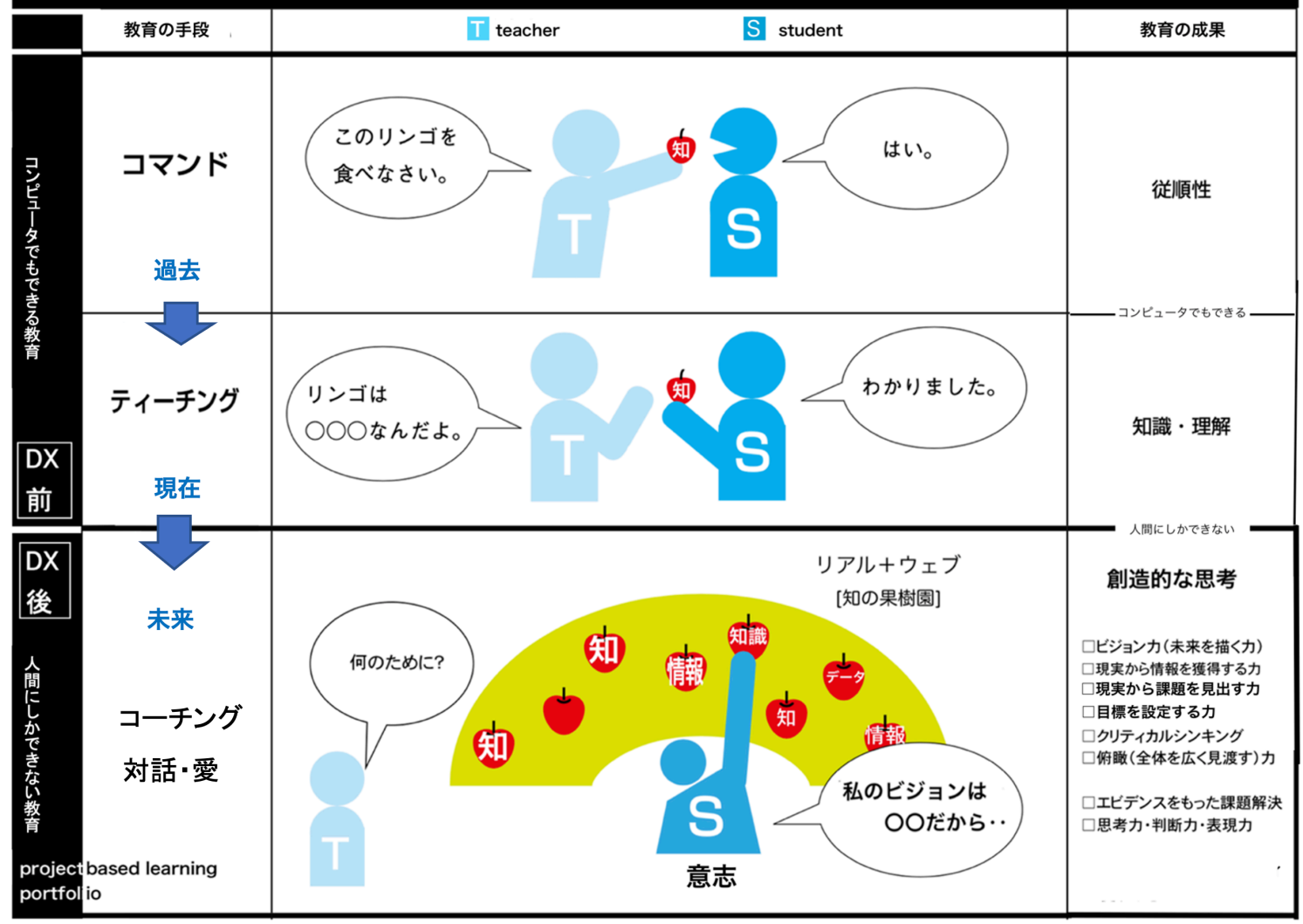
著者：鈴木敏恵



出典：書籍『AI 時代の教育と評価』

著者：鈴木敏恵

1.　教育の進化ー与えられた学びから、意志ある学びへ

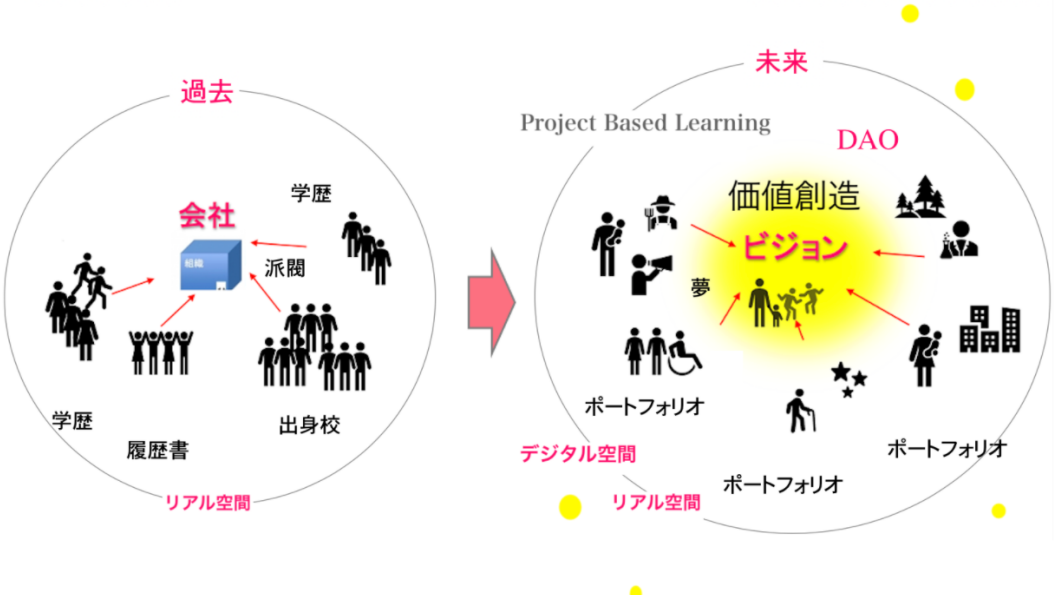


未来教育	1　ビジョンとゴールを自己決定できる人になる 2　そのために「何が必要か」を考えられる人になる 3　自ら「知識・情報」へ手を伸ばす人になる 4　確かな「知識・情報」を手に入れられる人になる 5　自分を客観的に見ることができる人になる 6　事実を元に、リフレーミングできる人になる 7　未来へ役立つリフレクションができる人になる

Copyright©2023 シンクシンクタンク未来教育ビジョン　All Rights Reserved.

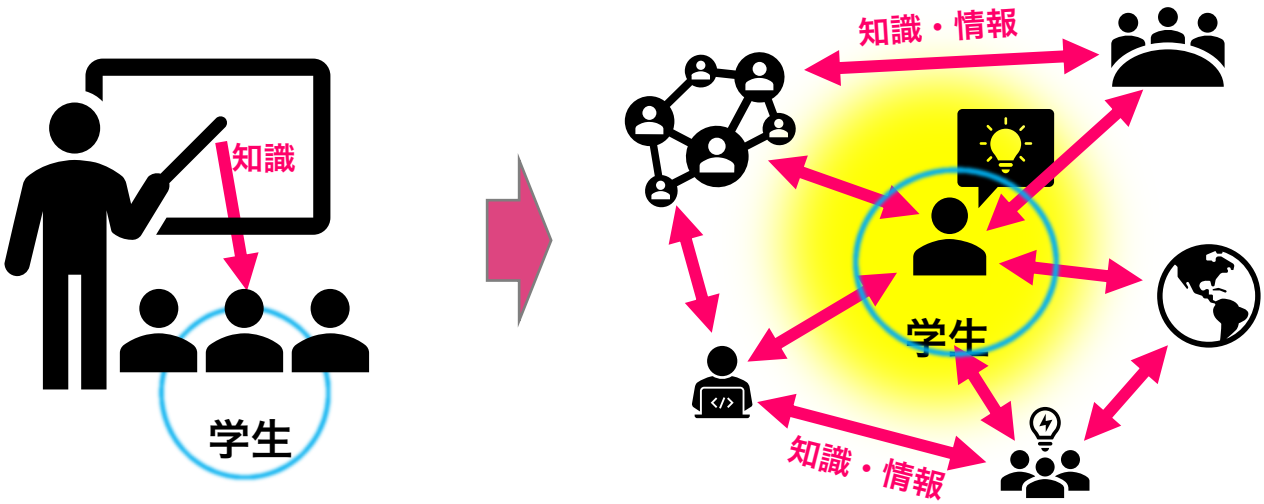
2.　DX（Digital Transformation）で進化する[社会・教育]

■ DX で進化する社会



■ DX で進化する教育

過去の学び（DX 前）　　**現在ー未来の学び**（DX 後）



Copyright©2023 シンクシンクタンク未来教育ビジョン　All Rights Reserved.

3.　Project Based Learning（プロジェクト学習）とは

プロジェクトとは‥未来への構想

・ビジョン（願い）を現実にすること
・ビジョン（目的）と ゴール（目標）が明確

・現実をよりよく変える
・価値ある何かを生みあげるもの

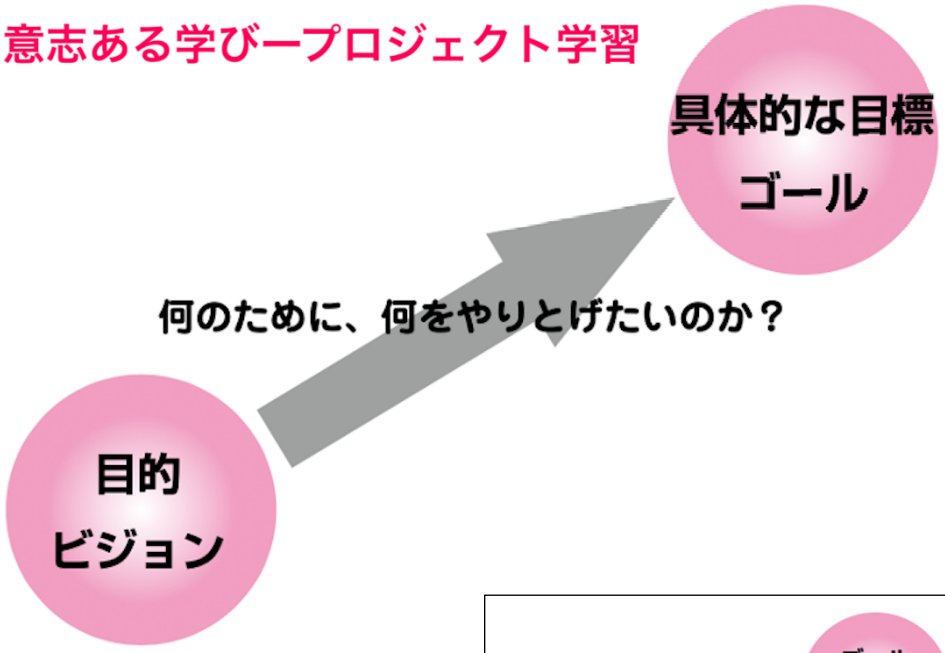
・ミッションを胸に未来へ向かう
・知識・情報を必要とする
・人を成長させる

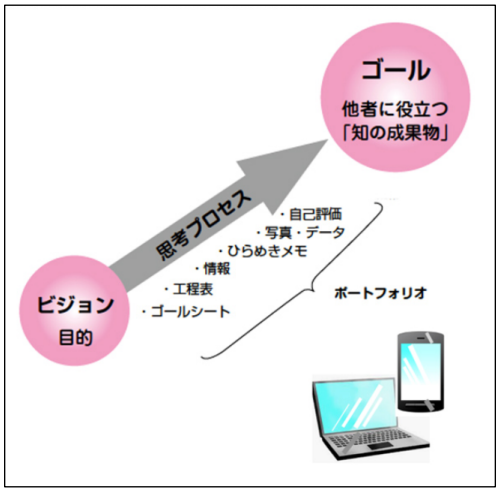
・プロジェクト学習とは、プロジェクトベースで向かう学び（＝Project Based Learning）。

・ビジョン（目的）：何のために、ゴール（目標）：何をやりとげたいのか、を明確にして向かう学び。

・目の前の現実から情報を獲得しつつ向かう

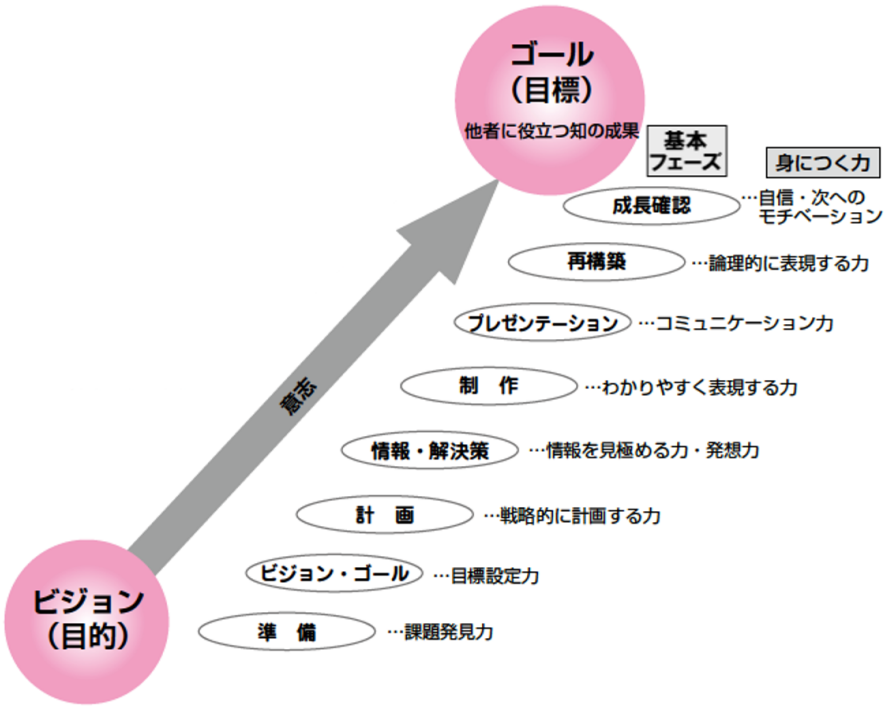
・価値ある成果をチームで生み出す

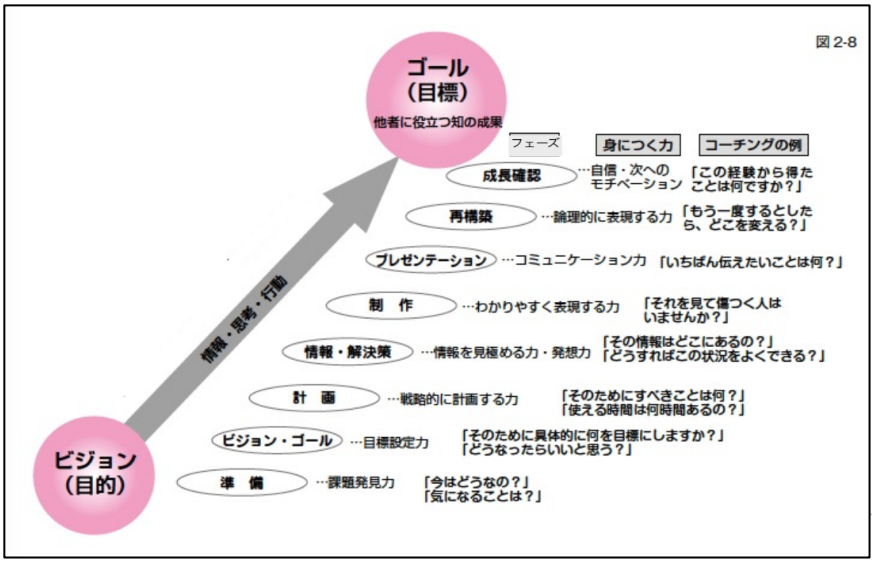




Copyright©2023 シンクシンクタンク未来教育ビジョン　All Rights Reserved.

4.　プロジェクト学習の［フェーズ］で［身につく力］





	プロジェクト学習で「身につく力」
準備	□課題発見力 □気づく力 □観察する力 □状況をつかむ力 □現実から問題を見出す力 □社会意識 □俯瞰する力
ビジョンゴール	□目標を設定する力 □ありたい状態／ビジョンを描く力 □現実に主体的にかかわる力 □やりとげる意志 □前向きな姿勢
計画	□すべきことをイメージする力 □優先順位を決める力 □時間を的確に配分する力 □戦略的に計画する力
情報・解決策	□根拠ある情報を獲得する力 □情報を見極める力 □分析する力 □比較する力 □分類する力 □礼儀・礼節 □多面的にものを見る力 □目の前の事態に対応する力
制作	□わかりやすく表現する力 □情報を取捨選択する力 □図、表、グラフを適切に使う力 □概念図等を使い端的で簡潔に表現する力
プレゼン	□コミュニケーション力 □ノンバーバルな表現力 □比喩等でわかりやすく表現する力 □根拠をもとに説明する力 □聞き手の思いや理解を推察して話す力 □他者のプレゼンを評価する力 □他者のプレゼンから学びとる力
再構築	□論理的に表現する力 □根拠に基づいて結論を導く力 □適切に項目立てし、見出しを立てる力 □的確で簡潔な文章を書く力 □試行錯誤しつつよりよいものを生み出そうとする姿勢
成長確認	□成長や成果を評価する力 □自己有用感 □自尊感情 □より成長しようとする意欲

Copyright©2023 シンクシンクタンク未来教育ビジョン　All Rights Reserved.

5.　プロジェクト学習とポートフォリオの関係

ゴールへ向かうプロセスで手に入れた知識や情報をポートフォリオへ一元化します。

Copyright©2023 シンクシンクタンク未来教育ビジョン　All Rights Reserved.

6.　ポートフォリオの基本

■　ポートフォリオとは

ポートフォリオとは、その人自身がこれまでの「学習歴」や「活動歴」「実績歴」などをファイルしたもの。紙ばさみや建築家などがもっている作品集ファイルを意味する。　バラバラの情報を一元化するもの。

その人自身の意志で成果や経験を一元化したもの。学習や仕事のプロセス全体が俯瞰して見えるファイル。

■　ポートフォリオの効果

1　「目標」や「成果」や「評価」を明確にする

2　結果だけでなく「プロセス」の評価ができる

3　個性や特性が見いだせるキャリアビジョンに役立つ

＜concept word＞

◇　ポートフォリオは価値あるものの一元化

◇　一元化するとそこから価値あるものが見えてくる。

◇　ポートフォリオは「書くもの」じゃなく「入れるもの」

◇　評価とは価値を見出すこと

◇　個性も才能も良さも‥見出すという意志がいる

◇　ポートフォリオは一生のもの

ポートフォリオの条件

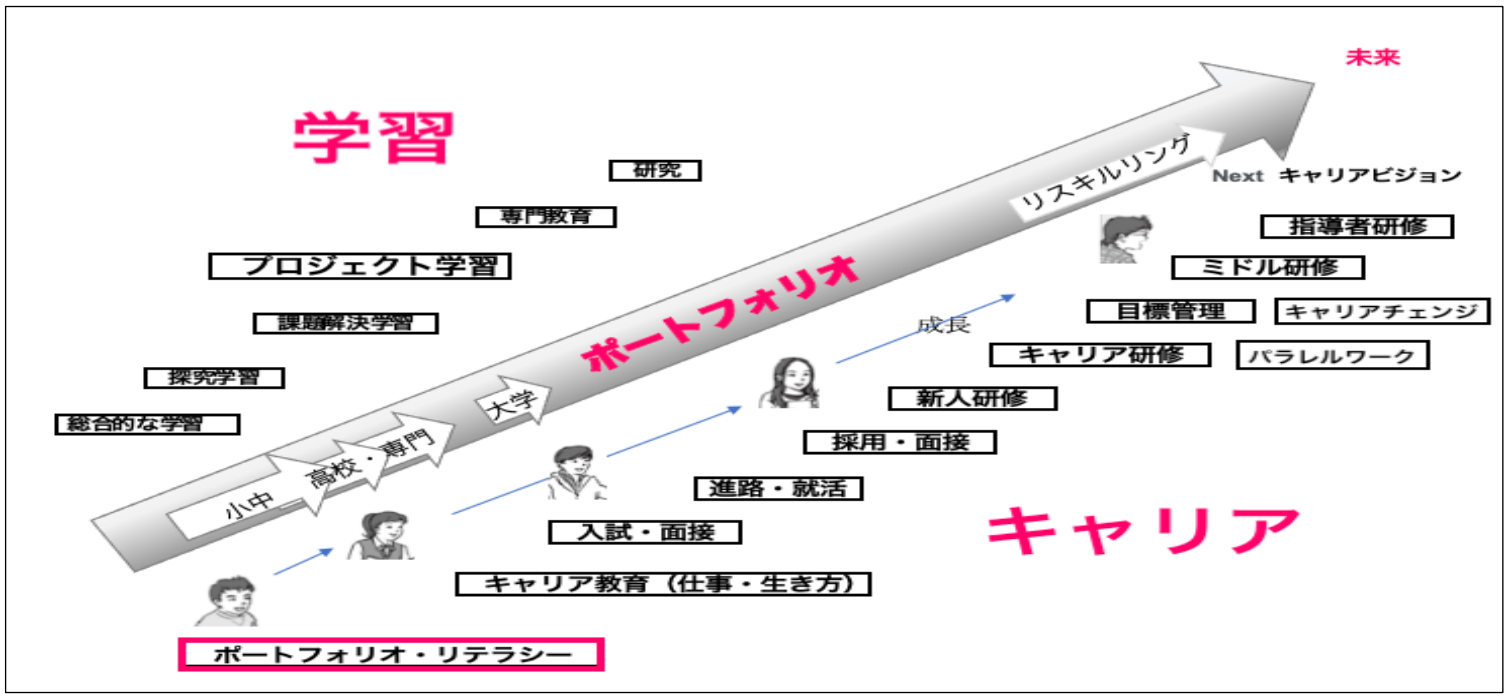
・ビジョン・ゴール・ミッションを入れる

・事実、根拠あるもの‥を入れる（出典・年月がわかるように）

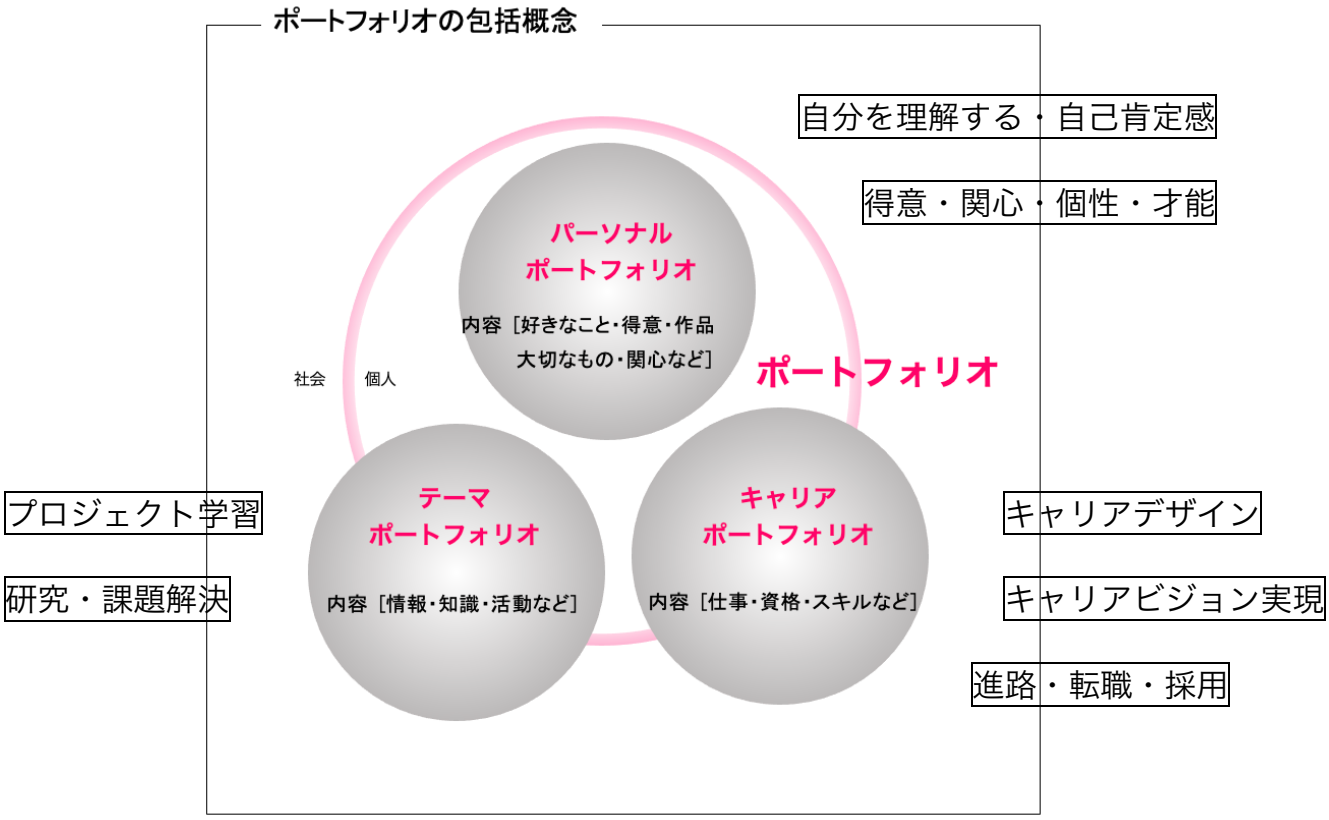
・成果へ至るプロセスがわかるものを入れる

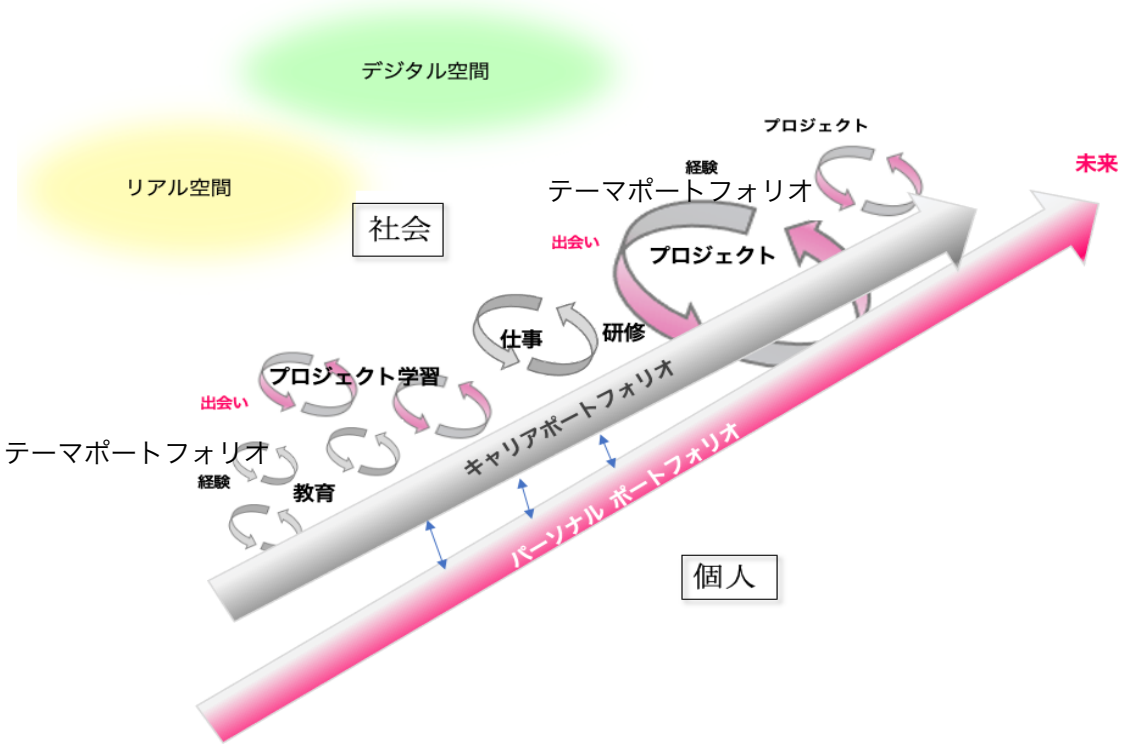
・潤沢な中身であること（スカスカポートフォリオじゃ始まらない）

・時系列に入れる



7.　ポートフォリオの活用・応用





Copyright©2023 シンクシンクタンク未来教育ビジョン　All Rights Reserved.

8.　ポートフォリオで「考える力」を高める

ポートフォリオで「知識」と「現実」を結びつける

考えるとは‥頭の中の知識と知識を「関連」づけたり、「関係」させたり、知識と情報を「結び」つけたり、情報と情報を「照らし合わせ」たり「分類」したりすることと

必要な情報は手に入れているか？

「知識」と「情報」を関連づけているか？

9.　ポートフォリオで頭の中を見る

Copyright©2023 シンクシンクタンク未来教育ビジョン　All Rights Reserved.

10. ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ学習：ポートフォリオに入っている必要がある中身

[共通]

☐ 各フェーズの区切りに「目標」と「評価」を入れる
☐「メモ」や「下書き」なども入れる

■ phase1：準備　＜対象の現状・課題＞

☐ ❶題材について、いま自分が知っていること、感じていること、願い、動機など
☐ ❷題材について、「根拠ある情報」基本知識：公的機関にあるデータ・論文など
☐ ❸題材について、「現実・現地」から得た情報（現状の写真、観察、気づき・記録メモ、データなど）
☐ ❹題材について、「他者」の見方、考え方、多様な立場の人からインタビューしたもの
☐ ❺題材について、「社会的価値」位置付けなどを書き出したもの（根拠・方向性）
☐ ❻題材について、「自分ごと」としての価値・関連性などを書き出したもの

■ phase2：ビジョン・ゴール　＜目的と目標＞

☐ 何のために（目的・ビジョン）と何をやり遂げたいのか（目標・ゴール）を書いた『ゴールシート』
☐ プロジェクト学習の基本フェーズの進行（期日・大まかな予定）がわかるもの
☐ プロジェクト学習の基本フェーズごとの「目標」・「成果」と「成長」を書き出したもの

■ phase3：計　画　＜すべき仕事と時間配分＞

☐ すべき仕事を洗い出し時系列に可視化したもの
☐ どうすれば最もいい仕事ができるのか戦略を考えたもの
☐ いつ、何を、どうするのか、目標までにすべき全体が見える『工程表（計画表）』

■ phase4:情報・解決策　＜課題解決への情報獲得・発想/アイディア＞

☐ 一般的情報・類似事例・関連事項、事例など情報/異分野、異領域からの発想メモ
☐ 題材と人や環境が本来あるべきイメージを念頭にした、独自な発想、アイディア・関連図
☐ あるべき理想と現状とのギャップ（課題）となっている要因を探る分析、思考メモ
☐ 分析するための比較、分類、関係など検討、概念図やイメージ、地図、平面図など
☐ 解決のために考えだせる限りの可能性の書き出し課題解決策の妥当性を検討したこと
☐ その解決策を実施するときのリスク・予期せぬ影響を考え書き出したもの
☐ 様々な試行錯誤の痕跡がわかるもの、検討メモ
☐ その解決策に絞った経緯、思考プロセスがわかるもの

■ phase5:制作　＜プレゼンのための制作＞

☐ 提案することの現状、根拠、具体的な課題解決策など集約したパラグラフの塊
☐ 知を構造化のための（パラグラフの）レイアウトを検討したもの、下書き
☐ 自分と逆の立場の人がどう受けとめるかイメージしてみたもの

■ phase6:プレゼンテーション　＜成果の披露と評価＞

☐ 最も効果的なプレゼンテーションにするためのアイデアやスキルメモ
☐ プレゼンテーションで得たメッセージや他者評価、自己評価
☐ 改善メモ：工夫した展開や自分の表情、動きなどの

■ phase7:再構築　＜プロジェクトの価値化（アウトカム）＞

☐ 収斂させた文章や概念図を含む「凝縮ポートフォリオ」の素材など
☐ 他者の「凝縮ポートフォリオ」から学んだこと

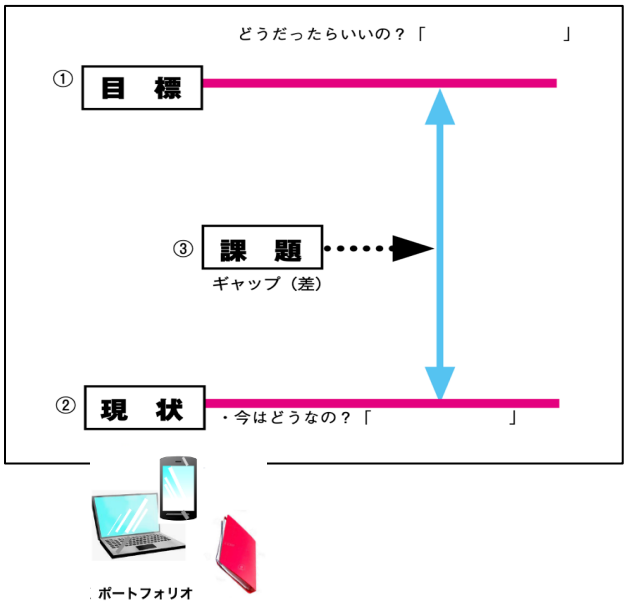
■ phase8:成長確認　＜プロジェクトで身についた力＞

☐ プロジェクト全体をフィードバックして得た価値あることや気付き
☐ 目に見える成長、目に見えない成長/プロジェクト前後の物事の捉え方など変化・変容

Copyright©2023 シンクシンクタンク未来教育ビジョン　All Rights Reserved.

11.　対話コーチング

■ 課題とは？



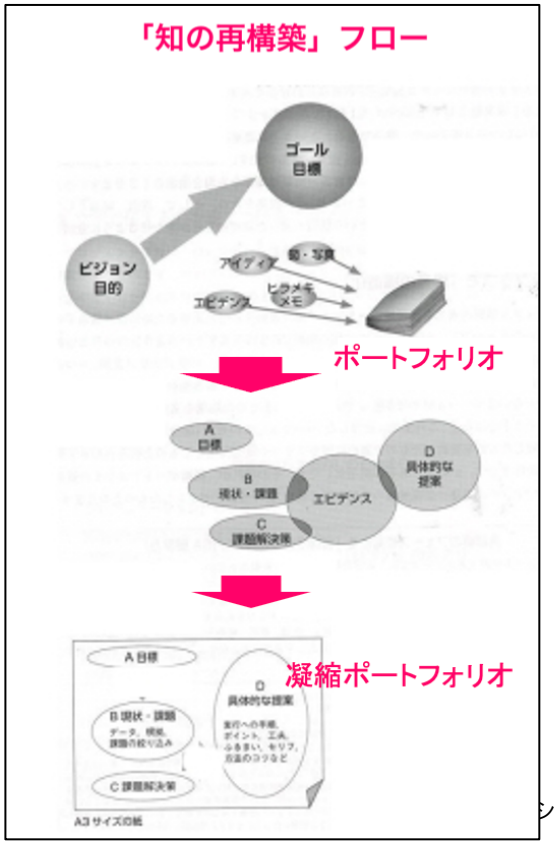
［思考力　判断力　表現力 ］の対話コーチング

鈴木 敏恵

- 思考　現状・状況‥‥「今はどうなの？」
  ありたい状態‥「どうだったらいいの？」
- 判断　決め手 ‥‥ 「いちばん大事なことは何？」
  押さえ ‥‥ 「何と何を比べたの？」
- 表現　目的 ‥‥ 「何（誰）のためにするの？」
  効果 ‥‥ 「それで何を変えたいの？」

Copyright © 2022 シンクタンク未来教育ビジョン 鈴木敏恵 All Rights Reserved

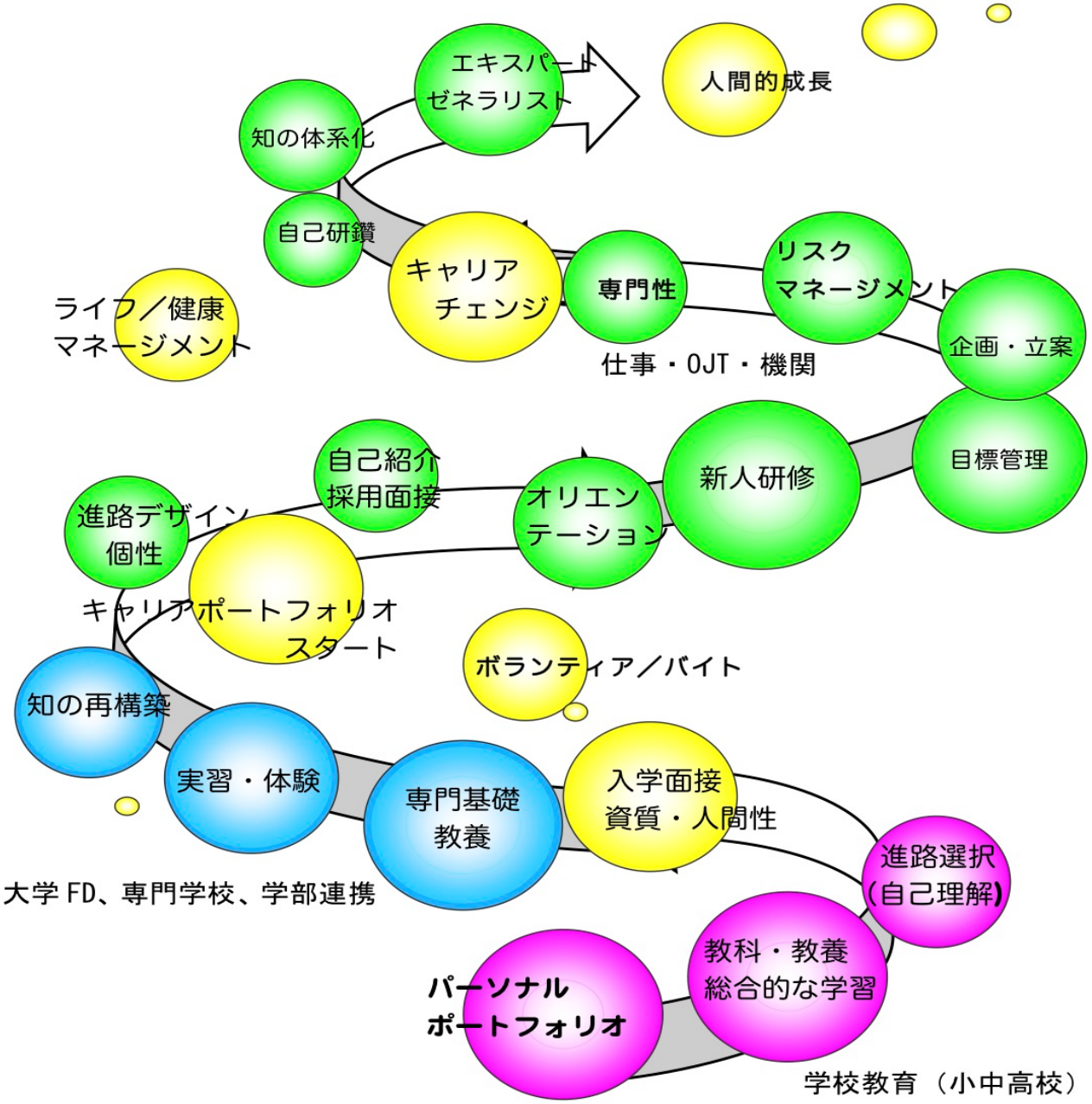
■ 課題解決：ビジョンを叶える提案「知の再構築」



シンクタンク未来教育ビジョン　All Rights Reserved.

12.　ポートフォリオ・プロジェクト学習が活きるシーン

生きることは学ぶこと



鈴木敏恵の未来教育プロジェクト（c）　http://www.mirai-project.net/

Copyright©2023 シンクシンクタンク未来教育ビジョン　All Rights Reserved.

鈴木敏恵　プロフィール

一級建築士・architect・次世代教育クリエーター・シンクタンク未来教育ビジョン 代表
国立大学法人 北海道教育大学 特別講師。文部科学省『ものづくり日本大賞 2022』選考委員
文部科学省『新たな看護師養成カリキュラムに対応した指導の手引き作成のための検討会メンバー2021』
『石川県教育委員会　探究アドバイザー2022』他

【公職歴】　内閣府中央防災会議専門委員・ 国立大学法人千葉大学教育学部特命教授・東北大学非常勤講師・放送大学非常勤講師(専門：心理と教育)・ 島根県立看護短期大学客員教授・日本赤十字秋田看護大学大学院非常勤講師。先進的教育ネットワークモデル地域事業企画評価委員(文科省総務省連携プロジェクト)ほか

建築家として『作品：日本初インテリジェント化された未来型学び舎誕生』NHK ニュースにて全国放送で紹介される。以後、IT 環境の実現、AV ネットワーク化、遠隔教育システム、CAI 導入など、学校のインテリジェント化、教育の未来化を先導。『日本計画行政学会賞』特別賞受賞。日本で最初のポートフォリオ・プロジェクト学習の理論と多様な実践を網羅した書籍。『 AI 時代の教育と評価（教育出版）』、『ポートフォリオで未来の教育（日本看護協会出版会）』『アクティブラーニングを超えた看護教育を実現する（医学書院)』等ポートフォリオ、プロジェクト学習、未来教育シリーズなど４８冊の著作

新刊『DX とポートフォリオで未来教育ー対話でかなえる学びとキャリアのデザイン』

「意志ある学びー未来教育」をコンセプトにプロジェクト学習、ポートフォリオ、対話コーチングなどを融合させた次世代教育を全国展開。主に教育界、医学界へ新人教育、指導者育成、次世代教育構想コンサルタント等を行う。

【作品】教育のインテリジェント化

（1）「未来学び舎モデルスペース」【第一回インテリアプランニング賞】部門特別賞受賞作品
（2）TO MIND COSMOS 「内なる宇宙への昇華」【第六回本郷新賞】札幌彫刻美術館主催/ 後援文化庁ノミネート作品
（3）「インテリジェントスクール21」【第4回日本計画行政学会計画賞】特別賞受賞作品
（4）病院内学級で「テレビ会議システム」を活用した遠隔授業の支援 1995

Copyright©2023 シンクシンクタンク未来教育ビジョン　All Rights Reserved.